

- 1 日 時： 令和2年11月5日(木) 14:00~17:15
- 2 会 場： 金沢市文化ホール
- 3 主 催： 第1回北陸歴史まちづくりサミット実行委員会(構成：金沢市・高岡市・村上市・佐渡市・北陸地方整備局)
- 4 次 第：
 - 開会セレモニー：金沢ひがし芸妓連による舞踊
 - 開会挨拶：山野 之義 金沢市長、岡村 次郎 北陸地方整備局長
 - 情報提供：「全国における歴史まちづくりの動向」古澤 達也 国土交通省大臣官房審議官
 - 基調講演：「歴史まちづくりのこれからと北陸の可能性」西村 幸夫 國學院大學教授
 - パネルディスカッション：テーマ「歴史まちづくりの効果・展望」
 - コーディネーター 西村教授
 - パネリスト 山野金沢市長、高橋高岡市長、高橋村上市長、渡辺佐渡市長、岡村北陸地方整備局長
 - サミット宣言：(認定都市代表)山野 之義 金沢市長
- 5 参加者： 来賓(石川県土木部長 他)、行政機関(文化庁、農水省、石川県、富山県、管内市町村 等)【計84名】
まちづくり団体(金沢市内・加賀市内・新潟市内)、一般参加者【計53名】 【合計137名】
- 6 概 要：
 - ・「歴史まちづくり法」に基づく歴史まちづくり計画の認定を受けた北陸地整管内の4都市と北陸地方整備局により、各都市の歴史まちづくり推進を目的とした北陸地方で初のサミットを開催。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施。(入場時の検温・消毒、間隔を開けた座席の配置、舞台の亚克力板設置・マイク等の交換・消毒、終了時のブロック毎の退場 等)



【パネルディスカッション】



【西村教授による基調講演】



【参加者による記念撮影】

第1回 北陸歴史まちづくりサミット概要(金沢市)

西村國學院大學教授より「歴史まちづくりのこれからと北陸の可能性」と題して、北陸地方整備局管内認定4都市の紹介、現状、可能性などについて写真などを交え講演を頂きました。



【基調講演会場の様子】

西村教授をコーディネーターに、北陸地方（新潟、富山、石川）の歴史まちづくり法による歴史的風致維持向上計画の認定を受けた4都市の市長、北陸地方整備局長をパネリストに迎え、「歴史まちづくりの効果・展望」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは、各都市の歴史まちづくりの紹介のあと、各都市における市民意識の醸成に向けた取り組み、コロナ禍で歴史まちづくりを持続していくための対応について、事例紹介や意見交換が行われました。



【パネルディスカッションの様子】

各認定都市が歴史まちづくりを推進し、個性や魅力にあふれる元気なまちを創り上げていくことを祈念し、4市長より「今後さらに市民と行政の協働により、先人から受け継がれてきた歴史的風致を保全、活用するとともに新たな価値を創出するなど、より魅力あふれるまちづくりに積極的に取り組んで行く」などとした、サミット宣言がなされ、満場の拍手により賛同されました。



【サミット宣言】

第1回北陸歴史まちづくりサミット 共同宣言

北陸地方のそれぞれの地域には、文化財や歴史的価値の高い資産が残され、人々の生活や生業がこれらの歴史文化資産と共に営まれており、地域固有の風情・情緒・たぐずまいといった歴史的風致が保存継承されています。

一方で、歴史的建築物の滅失や、それらと一体となって歴史的な風情を醸し出している自然環境の減少、伝統文化や伝統産業などの担い手不足といった課題も少なくありません。

現代に生きる私たちは、地域に受け継がれてきた大切な歴史文化資産を守り育み、後世に継承する責務があります。

本日、ここ金沢において、北陸の認定都市が一堂に会し、歴史都市が担う役割や様々な課題についての意見交換を行うことで、歴史まちづくりの推進が、それぞれの「まち」の個性や魅力を高め、市民と共に守り育てていくことで、持続可能な「まち」につながっていくことを確認できました。

さらに、歴史都市同士が互いに連携して魅力を発信することで、新たに歴史都市を目指す都市が加わるなど、ここ北陸全体の歴史まちづくりの発展につながることを確信しています。

私たちは、今後さらに市民と行政の協働により、先人から受け継がれてきた歴史的風致を保全、活用するとともに、新たな価値を創出するなど、より魅力あふれるまちづくりに積極的に取り組んで行くことを、ここに宣言します。

令和2年11月5日
北陸歴史まちづくり認定都市一同
(高岡市、村上市、佐渡市、金沢市)